

# 「未来に向かって」

## —地域ブランドを生かしたまちづくり—

今年は塩竈みなと祭が70周年を迎えるほか、秋には塩竈市魚市場がグランドオープンします。これまで培われてきた歴史や文化、そして食をはじめとした産業など、コンパクトなまちの中には、魅力あふれる地域資源が豊富にあります。

新春座談会では、産業、教育・文化の分野で活動されるゲストの方々をお迎えし、本市のまちづくりについて市長、議長とともにお話いただきました。



### 夢と誇りを持って暮らせる年に

**市長** あけましておめでとう、ございます。今年の干支は丁酉ちのとりで、成功や成果、ヒントを授かるというような意味を持つ年となります。

いまだ災害公営住宅にお住まいいただけない方もおられますが、いつときも早く、そしていつまでも市民の皆さんが安心して生活できる場を提供させていただくことが、本市に課された大きな課題ではないかと思っております。

今年は、ふるさと「塩竈」で、夢と誇りを持ち続けて暮らしていただけるよう、市民の皆さんとのお一層頑張る取り組んでまいります。

**司会** 出席者の皆さんから自己紹介を兼ねて一言お願いします。

**松永** (株)明豊で代表をしております。塩竈と同じ魚の産地である静岡県焼津市出身で、塩竈に来て8年経ちました。本日は水産業の立場でお話をさせていただきます。

**佐浦** 290年の歴史を持つ造り酒屋ですが、自社商品のみならず、日本酒全体の海外普及にも関わっています。また、平成27年から塩竈みなと祭協賛会の実行委員長を務めております。

**三神** ゆずりの葉少年少女合唱団の代表と指導をしております。幼稚園児から大学生まで塩竈市を中心に2市3町の子どもたちが集まって活動しています。今年で結団から15周年を迎えます。平成27年には塩竈市が復興支援をいただいていた

ご縁で、沖縄県糸満市でコンサートを行ってきました。

**大元** 塩釜高校を卒業し、仙台大学、アイリスオーヤマ(株)と、地元でずっとポーター競技を続けています。昨年8月に行われたリオデジャネイロオリンピックのポーター競技、男子軽量級ダブルスカルに出場し、15位という結果でした。決勝進出という目標を達成できず、残念な結果に終わりましたが、多くの方からご声援をいただき、本当にうれしく思いました。ありがとうございます。

**議長** 議長職は2回目ですが、議員8期目になりました。今年も市長とともに、オール塩竈で震災からの復旧復興に努めてまいります。

### 「塩竈」発の地域ブランド

**司会** ありがとうございます。

皆さん、活動分野は異なりますが、さまざまな形でふるさと「塩竈」を国内外にPRなされております。皆さんの活動を振り返りながらお話いただきます。

**松永** 新たな事業として漁業を始めました。昨年は、原料となる冷凍の魚を入港させ、製造、加工して全国に販売するという目標を達成できました。

また、2年かけて「MSC認証(※)」という、持続的な漁業を推奨する国際機関の認証を受けました。

少子高齢化の中、国内で販売を行うっていくことは大変ですが、今回の認証も含め、付加価値を付けた商品の情報発信に取り組んでいます。



佐浦弘一さん  
浦霞醸造元(株)佐浦  
代表取締役社長  
塩竈みなと祭協賛会  
実行委員長



大元英照さん  
ボート選手  
アイリスオーヤマ(株)所属  
塩竈市出身



三神博子さん  
ゆずりの葉少年少女合唱団代表



松永賢治さん  
(株)明豊 代表取締役社長

**佐浦** どの業界も同じですが、国内の人口減少などもあり、国内市場は縮小していきますので、海外市場への取り組みは必要性に迫られたことだと認識しています。

日本酒はそのお酒が生まれた地域の歴史や風土、そして食文化と一緒に情報発信していく必要があります。塩竈は港町で、海の幸に恵まれた場所なので、自社のお酒の楽しみ方や特徴を伝える際、海外でもPRしやすいです。

また、みなと祭協賛会の実行委員長としてお話すると、昨年のみなと祭陸上パレードでは、東京ディズニーシー15周年スペシャルパレードも行われ、前夜祭と本祭で11万人を超える人出となりました。多くの団体に支えられ、一人ひとりの頑張りが実った年であったと思います。

**三神** 一昨年の沖縄でのコンサートは大きな出来事でした。沖縄での豊かな経験をいつまでも忘れずにいようと、昨年は沖縄のわらべ歌と「さとうきび畑」をさまざまな場所で、1年を通して歌ってきました。子どもたちが肌で感じた平和への願い、大切さを歌い合わせることで伝えられたのでは、と思います。

また、市内の行事では高齢者まつりなどでも、合唱を披露することができ、市民の方から「聴いてましたよ」と声を掛けていただき、大変ありがたかったです。

**大元** オリンピックが終わってからは、子どもたちにスポーツの魅力を伝えるイベントやボートの魅力を実感してもらう

イベントに積極的に参加しています。自分がそうであったように、目標に向かって真剣に取り組むことで、夢は実現できるということを伝えていきたいと思っています。

**議長** 以前、議会の視察で兵庫県に行った際、宿泊先で「浦霞」の名前が出ました。商品のブランド力はすごいですね。「三陸塩竈ひがしもの」もそうですが、地域ブランドというのは、とても重要なんだということを認識して帰ってきました。

**市長** 今後は塩竈を国際ブランドに仕上げていくことが大切になってくると感じています。観光であれば、インバウンド（訪日外国人旅行者）をどうやって増やしていくか。ということだと思います。

塩竈の地酒や水産加工品、スイーツなどを活用して、情報発信していくことが大切だと思います。国内市場が縮小する中、海外展開を視野に、戦略的・総合的に「地域ブランド」として発信していく必要があります。

**「強み」を生かし、既存資源との融合により新たな魅力を創出**

**司会** 地域ブランドというお話も出ましたが、今後、どのような戦略で、塩竈の地域ブランド力を高め、魅力を発信していくべきか、ご意見をお聞かせください。

**佐浦** 地域の強みをしっかりと発信していくことが、一番大事だと思います。



佐藤 昭 塩竈市長



香取嗣雄 塩竈市議会議長



渡辺恵美さん(司会進行)  
バイウエーブチーフアナウンサー



▲秋に行われたゆめ博。近隣自治体と連携、ブースでまちをPR



▲新鮮な魚介が並び仲卸市場内で、好きな「マイ海鮮丼」  
具材をのせてたべる  
(写真提供：塩釜水産物仲卸市場)



▲海のエコラベルと言われる「MSC認証」を受けたカツオの一本釣り漁  
(写真提供：(株)明豊)

大元 日本のコーチだと、競技面に特化した指導をするのですが、海外のトップ

司会 大元さんは海外遠征も多いと思いますが、海外で活動されていて感じることはありますか。

市長 まちづくりも一緒ですね。どういった戦略でまちづくりを進めていくかが大切です。

佐浦 インバウンドでも、国によって嗜好も違うので、ターゲットを絞り、十分調査した上で発信していく必要がありますし、口コミの活用も重要です。その国の人たちに響くような方法と形にアレンジしながら、情報発信していくことが必要だと思っています。

松永 地元企業が取り組んできたことと、私たちの技術やノウハウ、既存の戦略的なアイテムを融合することによって、新しいものをつくっていくべきだと思います。

そして、塩竈発のブランドとして、海外に向けて発信できたら素晴らしいと思います。

また、市民が自ら企画する「しおがま音楽の集い」は今年4回目を迎えます。コーラスだけでなく、いろいろなジャンルの音楽を取り入れて、若い人たちも参加できるような呼びかけていきたいです。

市長 沖縄の糸満市から帰ってきて、ゆずりの葉少年少女合唱団の子どもたちは大きく成長したと思います。こういった経験が教育には必要なんだと感じています。

議長 これからは広域的観光に取り組んでいかなないと滞在型にはならないと思います。

塩竈には、鹽竈神社や仲卸市場がありますし、近隣には多賀城市の史跡、日本三景の松島などがあります。お互いの良いところを融合させることで、広域的な観光地になるのではないかと思います。

市長 広域的な視点でというお話がありました。現在、東松島市を含む3市3町で「松島湾ターランド構想」を立ち上げ、この地域の観光をPRしていこうと取り組んでいます。

昨年「みなと塩竈・ゆめ博」でも、各自自治体の若手職員が参加し、それぞれのまちのPRをしてくれました。

また、まちづくりを支えていく人材育成において、スポーツの果たす役割は大きいと思います。スポーツでの経験を、将来のまちづくりに生かしていただく。人材育成というのはまちの基本だと思います。同様にコーラスを通じて、人間教育を行っていく。人材育成は長い目で見ていかなければならないと思います。

10年先、そしてその先を見据えて、  
第一歩を歩きます

司会 最後にありますが、今年の抱負や市民の皆さんへのメッセージをお願いします。

佐浦 塩竈市でも平成27年に県内で2番目となる「塩竈の地酒等地域資源を生かした食文化の振興に関する条例」いわゆる乾杯条例ができました。

一方で、もっとライブ感のある楽しみ方ができないかと思っています。仲卸市場の「マイ海鮮丼」は非常に魅力的で、ライブ感のある楽しみ方の一つだと思います。また、歴史・文化の豊かなまちでもあるので、歴史を感じながら、塩竈全体を一つのストーリーの中で、楽しんでいただけるような環境整備と発信が必要かと思っています。

また、市民が自ら企画する「しおがま音楽の集い」は今年4回目を迎えます。コーラスだけでなく、いろいろなジャンルの音楽を取り入れて、若い人たちも参加できるような呼びかけていきたいです。

市長 沖縄の糸満市から帰ってきて、ゆずりの葉少年少女合唱団の子どもたちは大きく成長したと思います。こういった経験が教育には必要なんだと感じています。

議長 これからは広域的観光に取り組んでいかなないと滞在型にはならないと思います。

塩竈には、鹽竈神社や仲卸市場がありますし、近隣には多賀城市の史跡、日本三景の松島などがあります。お互いの良いところを融合させることで、広域的な観光地になるのではないかと思います。

市長 広域的な視点でというお話がありました。現在、東松島市を含む3市3町で「松島湾ターランド構想」を立ち上げ、この地域の観光をPRしていこうと取り組んでいます。

昨年「みなと塩竈・ゆめ博」でも、各自自治体の若手職員が参加し、それぞれのまちのPRをしてくれました。

また、まちづくりを支えていく人材育成において、スポーツの果たす役割は大きいと思います。スポーツでの経験を、将来のまちづくりに生かしていただく。人材育成というのはまちの基本だと思います。同様にコーラスを通じて、人間教育を行っていく。人材育成は長い目で見ていかなければならないと思います。

10年先、そしてその先を見据えて、  
第一歩を歩きます

司会 最後にありますが、今年の抱負や市民の皆さんへのメッセージをお願いします。

佐浦 塩竈市でも平成27年に県内で2番目となる「塩竈の地酒等地域資源を生かした食文化の振興に関する条例」いわゆる乾杯条例ができました。

一方で、もっとライブ感のある楽しみ方ができないかと思っています。仲卸市場の「マイ海鮮丼」は非常に魅力的で、ライブ感のある楽しみ方の一つだと思います。また、歴史・文化の豊かなまちでもあるので、歴史を感じながら、塩竈全体を一つのストーリーの中で、楽しんでいただけるような環境整備と発信が必要かと思っています。

もう一つは周辺自治体との協力です。塩竈は山形県村山市と交流がありますが、村山市と塩竈を結ぶようなルートを作っていくなど、広域的な取り組みがあってもよいと思います。

松永 地元企業が取り組んできたことと、私たちの技術やノウハウ、既存の戦略的なアイテムを融合することによって、新しいものをつくっていくべきだと思います。

そして、塩竈発のブランドとして、海外に向けて発信できたら素晴らしいと思います。

また、市民が自ら企画する「しおがま音楽の集い」は今年4回目を迎えます。コーラスだけでなく、いろいろなジャンルの音楽を取り入れて、若い人たちも参加できるような呼びかけていきたいです。

市長 沖縄の糸満市から帰ってきて、ゆずりの葉少年少女合唱団の子どもたちは大きく成長したと思います。こういった経験が教育には必要なんだと感じています。

議長 これからは広域的観光に取り組んでいかなないと滞在型にはならないと思います。

塩竈には、鹽竈神社や仲卸市場がありますし、近隣には多賀城市の史跡、日本三景の松島などがあります。お互いの良いところを融合させることで、広域的な観光地になるのではないかと思います。

市長 広域的な視点でというお話がありました。現在、東松島市を含む3市3町で「松島湾ターランド構想」を立ち上げ、この地域の観光をPRしていこうと取り組んでいます。



▲沖縄県糸満市で、歌声を披露するゆずりの葉少年少女合唱団(写真提供：糸満市役所)



▲12月2日、塩竈市魚市場中央棟で収録

昨年10月1日、「みなと塩竈・ゆめ博」のオープニングの日は「日本酒の日」でもあり、「塩竈の地酒で一斉乾杯！」というイベントを開催しました。今年も開催したいと考えています。

また、いわゆる「酒蔵ツーリズム」にも取り組み、地域観光の魅力を感じていただけるよう、塩竈らしさを付け加えて、しっかり発信していきたいと思っています。

さらに、昭和23年に産業振興と市民を勇気づけるために始まった「塩竈みなと祭」も今年70周年と節目の年になります。祭りを通して、市民の皆さんがふるさと「塩竈」への愛着と誇りを持ち、「まち」の活性化につながるよう実行委員長としてその一端を担ってまいりたいと思います。

**松永** 一年でできることは限られていると思います。次の10年に向け、今、何をすべきか考えた時、国内から世界に目を向けるための準備をどのくらいできるか。今年を10年先を考えるための初年度ととらえ、一年間頑張っていきたいと思えます。

**大元** 最終的な目標は2020年の東京オリンピックで、メダルを獲得することですが、今年にはワールドカップ、世界選手権でメダルを獲得することです。

過去の世界選手権では決勝に進出しているものの、メダル獲得がないので、今年こそは獲得できるようにやっていきたいと思えます。

**三神** 今年は、15周年の記念コンサートを8月に遊ホールで開催します。OB、

OG、大学生となった子どもたちも参加し、心一つにして歌いますので、ぜひ聞いていただきたいです。

**議長** 北浜藤倉地区の土地区画整理事業や海岸通1番2番地区の市街地再開発事業など、市民の皆さんに目に見える形でお示しすることが私たち議会の願いであり、務めだと思っておりますので頑張っております。

**市長** 塩竈のまちを振り返るとき、やはり「歴史」というものもまちづくりには、大きな役割を果たしてきました。歴史に裏打ちされた文化がこのまちに脈々と息づいております。

本市では昨年「景観計画」を策定しました。松永さんのお話にもあったように、10年、50年、100年先の歴史に耐えられるような「まち」にしていきたいと思います。

千年の風土を、今、我々はその第一歩を踏み出すのだという思いでしっかりと頑張っております。

今日は皆さんから明るい、示唆に富んだお話をいただき心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

MSC認証：持続可能で適切に管理され、環境に配慮した漁業を認証する制度。認証を受けると、漁獲物に「海のエコラベル」を付けて販売することができ、消費者は、購入することで持続可能な漁業の普及に貢献できます。



▲世界の舞台上で活躍する大元選手は、子どもたちの憧れであり、目標です  
(写真提供：アイリスオーヤマ(株))



▲「塩竈の地酒で一斉乾杯！」  
(写真提供：塩釜商工会議所)



▲日本酒の飲み比べは、外国人旅行者にも人気があります